

令和3年度第2回理事会議事録

1. 日 時：令和3年6月24日（月）19:00～20:00
2. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、野坂知加、木村正彦、吉岡拓朗、吉田泰憲、逆井久美子、川口裕美、高松みどり、細川和子、番場隆彦、本田昌樹、神山哲哉、米沼順子、三上英子
3. 欠席者：奥沢悦子、吉岡治彦、小山内誠、河村義雄、太田孝雄

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告
 - ・石山学術部長より今後の研修会をWEBで開催するなどで開催していきたい。
 - ・青森県医学検査学会について6/24現在で参加登録数会員169名、学生29名、賛助会員19名、会場参加15名。自己申告で参加していない方が約40名。
 - ・部門長会議を実施し、今年度の精度管理は10月初旬に案内開始、11/6-7で試料発送、3月に講習会を予定している。との報告があった。
2. 公益部経過報告

奥沢公益部長が欠席のため齋藤会長より高校心電図健診について順調に終了しているとの報告があった。高松理事より心電図健診で機器トラブルを医師会に報告したが、その後全く返答がないこと、マスク等の準備がされていなかったため来年度以降は準備してほしいとの要望があった。齋藤会長より派遣技師が高齢化してきていることも含め一度検討する必要があるとの回答があった。
3. 渉外部経過報告

木村渉外部長より特になしとの報告があった。
4. 事務局経過報告

野坂事務局長より北日本支部学会の事前登録と演題登録についての報告があった。
5. 齋藤会長より報告
 - ①日臨技議決権

6/28 現在で 513 名/615 名 (83.41%) となっている。

②6/30 青臨技総会について

当日参加は学会と同様自己申告による事後登録とする。

③タスクシフト/シェアの北日本支部実務担当者講習会

8/21 (土) 10:00-17:00 (予定) で仙台市にて実務担当者講習会が開催される。青臨技からは7名(齋藤会長除く)を選出し講習会に参加してもらう。実務委員となる人は8/21の講習会当日までに基礎講習コンテンツアップロードの視聴を終えていることと。交通費日当は日臨技で負担となるが、受講料(10,000円)は自己負担となる。5年の事業計画となっているため少なくとも2年は勤めてくれる人を選出する。以下の通り支部から人選してもらう事とした。

- 1) 三八+上十三 (3名)
- 2) 東青+下北 (2名)
- 3) 中弘南黒+西北五 (2名)

④タスクシフト/シェアの青森県実技講習会

青森、弘前、八戸で開催。直腸肛門機能検査・消化器内視鏡検査の講師は、弘前市早川内科肛門科の早川先生。

今年度の開催の予定は9/20(月・祭日)アスパムを予約。逆井理事より八戸ではYSアリーナが候補。現在のところ23日(木・祭日)であれば仮予約することができるがおさえたほうがよいかと質問があった。齋藤会長より念のため仮予約をしてほしいとの回答があった。

⑤ワクチン接種基礎研修

6/24 現在で基礎講習 29 名終了。青森県健康福祉部保健医療調整本部より八戸市から臨床検査技師によるワクチン接種について要請があったとの報告があった。

【議題】

1. 部門名の変更

齋藤会長より、学術会議にて日臨技学術部門体制の構成に準じ、青臨技の研究部門名の変更が提案されたことから、理事会で検討してほしいと提案があった。

青臨技 (現)		日臨技
生物化学分析部門	→	生物化学分析部門
生理機能検査部門	→	臨床生理部門

病理・細胞診検査部門	→	病理細胞部門
血液検査部門	→	臨床血液部門
一般検査部門	→	臨床一般部門
感染制御部門	→	臨床微生物部門
輸血・移植検査部門	→	輸血細胞治療部門
総合管理部門	→	臨床検査総合部門
遺伝子部門（H30 から）	→	染色体・遺伝子部門

理事に意見を求めたところ、出席者全員が異議なく了承され、本日付で検査研究部門運営規定を変更することとなった。

2. 研修会等の共催・後援、会員への案内を行うことの承諾基準

齋藤会長より現状基準がないためある程度の基準が必要なのではないかと提案があった。日臨技の承認する基準をもとに内容を確認し、青臨技でも承認していくこととなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

【その他】

1. 齋藤会長より

①総会について

参加の自己申告については一斉メールで会員にお知らせします。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

幹事

印

印